

事務事業名	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業		
事業開始年度	平成7年度	担当部署	地域振興部 農政課

根拠法令	
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他(協働・共同執行 )
目的 (何のために)	本共園の適正な維持管理を図ることにより、豊かな水辺空間として市民に憩いの場を提供することに合わせ、農業用水を確保する。
対象 (誰・何を対象に)	市民、農業者
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本共園は、大阪府オアシス構想に基づき、農業用ため池であった津田地蔵池を市民の親水空間として整備した。</li> <li>・地元協議会(地蔵池オアシスコミュニティ協議会、平成7年発足)が維持管理等を行っており、市との協定により施設の管理費用は市が負担している。</li> <li>・清掃や日常的な点検(4月～9月週2回、10月～3月週1回)は、地元協議会がシルバー人材センターに委託している。</li> <li>・地元協議会の構成員は、地域清掃や堤塘敷の草刈り等の役割を担っている。</li> </ul>
事業の必要性	一般市民に常時開放されている空間として、適正に維持管理する経費は必要。(引き続き必要な事業である。)

コスト												
		H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算				
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費			
正職員	0.2	人	1,672	千円	0.2	人	1,652	千円	0.2	人	1,606	千円
再任用職員		人		千円		人		千円		人		千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			1,672	千円			1,652	千円			1,606	千円
直接経費(B)			2,299	千円			1,999	千円			2,000	千円
総事業費(A+B)			3,971	千円			3,651	千円			3,606	千円

財源内訳												
		H20年度決算			H21年度決算			H22年度当初予算				
国庫支出金			0	千円			0	千円			0	千円
府支出金			0	千円			0	千円			0	千円
受益者負担 (使用料等)			0	千円			0	千円			0	千円
その他			0	千円			0	千円			0	千円
一般財源			3,971	千円			3,651	千円			3,606	千円

平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金		1,999 千円
			千円
			千円

事務事業名	津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業		
事業開始年度	平成7年度	担当部署	地域振興部 農政課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
活動実績	① オアシス共園管理作業(清掃・日常的な点検)	回	83	83	83
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費 / オアシス共園管理作業(回数)	円	47,843	43,987	43,445
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	・本共園の適正な管理を行う。				
事業の自己評価	・本共園の適正な管理が十分におこなわれた。				
今後の事業の 方向性	・親水空間として市民の農業理解を深めることと農業用水を確保する目的で開園したが、開園後15年が経過し、現在、親水施設等は老朽化等が進んできて改修等には多額の費用が必要である。また、地元協議会には、一般市民が利用するにもかかわらず、地元が管理する不公平感や、メンバーの高齢化など課題が多いため、管理手法について検討が必要。				
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例など)	・大阪府オアシス構想に基づく「ため池オアシス」が、熊取長池(熊取町)、伊賀今池(羽曳野市)、栗ヶ池(富田林市)、新稲三池(箕面市)など、本共園を含めて34地区で整備され、ため池環境コミュニティが本協議会を含め19団体設立されている。 ・各コミュニティとも、①利用者のマナーが悪いなど不特定多数の利用による、維持管理の作業とコストの増大。②利用は不特定多数であるが、維持管理負担はコミュニティのみが負う不公平感。③施設整備による維持管理作業とコストが増大。④コミュニティのメンバーの固定化、減少化、高齢化等を問題点としている。				
特記事項					

## 津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金交付事業補助資料

### [施設の概要]

所在地	枚方市津田元町4丁目691番地
名称	津田地蔵池オアシスコミュニティ共園
敷地面積	約18000㎡（内水面面積12000㎡）
土地所有者	枚方市津田財産区
設置年月	平成7年7月
構造物	護岸 約590m 木製歩道デッキ 86m フロート噴水 1基 東屋 1棟 擬木柵 137m 安全柵 239m 修景施設 1式（遊具施設、遊歩道、せせらぎ水路、水生植物園）

### [運営主体]

名称	地蔵池オアシスコミュニティ協議会（事務局 枚方市農政課）
構成員	津田区、津田財産区管理会、津田水利組合、JA北河内津田支部、津田福寿会、津田子供会

運営内容 清掃、日常点検、草刈りなど

#### ◎平成21年度の主な活動

- ・「オアシス共園」内清掃（協議会構成団体）
- ・堤防の草刈り（水利組合）
- ・「地蔵池内」清掃（水利組合）
- ・清掃（福寿会）

運営費 市が管理費用として負担金を支出（平成21年度 200万円）

需用費 約 46万円（電気、水道、燃料代）

委託料 約150万円（施設点検〈遊具・ベンチ・簡易トイレ等の点検清掃〉、清掃業務、保安業務〈自家用電気工作物〉、工事委託〈木製デッキ手摺補修、水生植物園浚渫工事〉）

保険料 約 4万円（施設管理者所有者賠償責任保険）

① モニュメント



② 木製歩道デッキ



③ コンビネーション遊具



④ 多目的広場



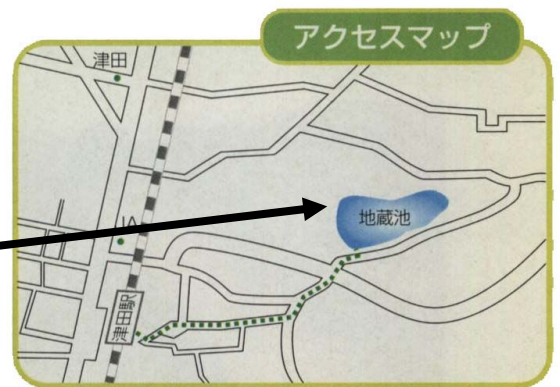
⑤ 東屋



⑥ 水生植物園



⑦ 野鳥の島



JR津田駅より北東に徒歩5分